

まつやま地区紹介MAP 41

正岡

区画整備が行き届いた農地と近代的な工場が共存する地区

まさおか

エリア基本データ(令和3年4月1日推計)

人口:1,968人
世帯:798世帯

10年前との比較
人口:87.5%
世帯:100.6%

- アイコン凡例
- 市役所・支所・出張所
 - 警察署・交番・駐在所
 - 消防署
 - 医療機関
 - 障がい者施設
 - 金融機関
 - 郵便局
 - 主要官公庁
 - 高齢者施設
 - 神社
 - 寺院
 - ショッピング
 - 遊ぶ・施設
 - チェック
 - 公園・自然
 - 学校
 - 子育て



国津比古命神社のみこし落とし

Pick up

かざはやひのこまつり
風早火事祭り

日本三大荒みこしの一つとして知られる祭り。例年10月の第2月曜日のスポーツの日を含む3連休で開催される。国津比古命神社の宮入りの際、境内の石段からみこしがバラバラに壊れるまで何度も落とす荒々しい「みこし落とし」が有名。

Q どんな地区ですか？

松山市北部に位置し、東部の山裾はイヨカンをはじめとしたかんきつ類の栽培が盛んです。中央の平野部は昔からの集落(八反地地区)が形成され、集落を囲むように農地が広がっています。ここでは米作やハウスイチゴ栽培が行われています。西部の国道196号(松山北条バイパス)沿いには工業団地が造成され、田畑に囲まれた静かな環境の中で操業しています。農業と工業、さらに住宅地が共存した景観を形成しています。



古くからの集落を形成する八反地地区

Q 生活環境はどうですか？

愛媛県内でも古くから土地改良事業が行われたこともあり、区画整備の行き届いた農地が広がっています。主要道路に沿って集落があり、落ち着いた町並みを形成しています。西の北条地区と東の立岩地区とをつなぐ県道17号(北条玉川線)が2車線化され、正岡小学校のある地区中心部から国道196号(松山北条バイパス)まで車で5分余りと通勤も便利になりました。工業団地の企業など、働く場所ができたことで、地区外から引っ越してくる人も増えています。

まさおかちくのけいがん
正岡地区の景観



農地と一体となった工場群
地区の西部は愛媛テクノポリス開発計画に基づき工業団地を整備。工場と田園が一体となった景観になっている。

いんないがわほたるのさと
院内川ホタルの郷



正岡小学校児童が育てたホタルの幼虫を放流する様子
地元の「風早ほたる育成会」が中心となり、院内川をホタルの郷にしようと、定期的に幼虫を放流している。

北条カントリー倶楽部



えひめだいがくのうがくぶふぞくのうしょう
愛媛大学農学部附属農場



附属農場の風景
学生の実習教育や地域農業の振興に力を入れ、農学部の環境創造型農業プロジェクトの中核を担っている。

地名の由来

戦国時代、伊予の豪族河野氏の重臣を務めた正岡一族が、この地を拠点としていたことで地名として残ったといわれている。

地区のイベント

愛媛大学農学部附属農場では子どもたちが農業体験できる「いきいき農場夢体験」を毎年11月に開催している。



このマップは、各地区の公民館・まちづくり協議会のみなさんにご協力いただき作成しました。掲載している内容は、令和3年8月時点のものです(一部例外あり)。医療機関・高齢者施設・子育て関連施設など、一部記載を省略しているものもありますので、詳しくはお問い合わせください。